

第3分科会

調査・研究

第3分科会 調査・研究に関する事情聴取の集約結果

主題 一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無〔()内は機関数〕

①調査・研究している(した) (40) ②予定している (0) ③予定はない (17)

(2) 研究の方法(期間)

①1年間 (11) ②2年間 (24) ③3年間 (4)

(3) 研究の内容

①【小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究】(17)

- ・ 特別な支援を要する児童生徒への機能代替アプローチによるICT活用の理解啓発に関する研究
- ・ 発達障害のある中学生、高校生への支援(通常の学級で共に学ぶための支援、教員への研修パックの作成他)
- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒のためのICTを活用した指導・支援の工夫
- ・ 学びにくさを抱えた児童生徒の理解と学習上の配慮
- ・ 校内組織の効果的活用による特別支援教育へのチームアプローチ
- ・ 高等学校における特別な配慮が必要な生徒への対応について
- ・ 高等学校における特別な支援を要する生徒の卒業後を見据えた指導・支援について
- ・ 読み書きのつまずきに対する早期発見・支援に関する学校支援について
- ・ 発達特性に応じた指導方法に関する研究
- ・ 通常の学級に在籍する読み書きに困難のある児童生徒のICTを活用した学びの研究
- ・ 当センターが発信している障がいの理解に関する冊子の更新にあたっての支援事例の研究
- ・ 合理的配慮の提供に関する研究、交流及び共同学習に関する研究 等
- ・ 自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくり—目指す児童生徒の姿と到達状況を具体的に捉え、PDCAサイクルの充実を図る—
- ・ 「読み・書き」に困難を抱える児童生徒の理解と学びの充実—「読み・書き」サポートブックの作成に向けて
- ・ チーム力をより高める校内支援体制の在り方—チームを支える特別支援教育コーディネーターガイドブックの作成を通して—
- ・ 発達障害・発達障害傾向の児童生徒に対する適切な支援を目指して—(仮)発達障害支援ハンドブックの作成と活用した研修マニュアルの作成—
- ・ 小学校低学年における多層指導モデルMIMの研究

②【特別支援学級・通級指導教室に関わる研究】(18)

- ・ 自立活動の基本的な内容を整理し、効果的な指導に向けたポイント及び自立活動の指導の改善を図るために参考となる実践例を示したハンドブックを作成する。
- ・ 中学校特別支援学級における将来の自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実に関する研究(令和4年度)
- ・ 中学校、高等学校の通級による指導の充実のための実践的研究
- ・ 児童生徒一人一人の資質・能力を育む交流及び共同学習
- ・ 特別支援学級向けのICT機器の活用についての指導資料集
- ・ 自立活動の指導法や児童・生徒の適切な状況把握に関する調査及び研究
- ・ 通常の学級担任と通級担当者の連携を図るための校内体制について
- ・ 当センターが発信している障がいの理解に関する冊子の更新にあたっての支援事例の研究
- ・ 特別支援学校による高等学校における通級による指導の実施に関する研究
- ・ 自閉症・情緒障害特別支援学級における授業づくりについて
- ・ 特別支援学級の授業づくりの視点を整理し、特別支援学級担任を支えるための教育センターの支援の在り方を検討する。
- ・ 自閉症・情緒障害特別支援学級の異年齢集団における授業づくりについて(パンフレットの作成)

- ・ 通級による指導の充実に向けた取組
- ・ 小・中学校の通級指導教室における指導の実態と課題に関する調査・研究
- ・ 特別支援学級担任への支援の充実を目指して－特別支援学級担任のためのハンドブックの作成を通して－
- ・ 特別支援学級における教育課程の編成・サポートノートについての研究
- ・ 特別支援学級における児童生徒の学びにつながる1人1台端末の活用についての研究
- ・ 文部科学省事業「ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究」

③【特別支援学校に関わる研究】(10)

- ・ 特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研究－自立活動資料(肢体不自由)の作成を通して－(令和4年度)
- ・ 知的障害教育における資質・能力の育成を目指した授業づくり
- ・ 特別支援学校におけるICTの効果的な活用の在り方
- ・ 特別支援学校(知的障害)におけるICTを活用した指導・支援の充実
- ・ 特別支援学校の専門性向上に関すること
- ・ 特別支援学校における子どもの資質・能力の育成に向けた取組に関する研究－ICTを活用した学びの充実－
- ・ 特別支援教育コーディネーターと関係機関との連携について
- ・ 特別支援学校におけるICT活用に関する研究
- ・ ICT活用における好事例及びiPadアプリ情報の収集・整理及びデータベースの構築
- ・ 重度知的障害のある児童生徒の資質・能力を育成する授業づくりのプロセスについての研究

④【授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究】(12)

- ・ ICTを活用した学習活動の充実に関する研究(小学校知的障がい特別支援学級、小学校LD等通級指導教室)(令和4年度)
- ・ 知的障害のある児童生徒への授業づくりについて
- ・ 特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用に関する調査研究
- ・ 知的障害教育における学習評価から授業改善につなげるフレームワークに関する研究
- ・ 担任一人で抱え込ませない、協働できる授業づくり、学校組織支援について
- ・ 課題となっている児童生徒の姿について、校内で15分程度の動画を視聴し、それについて話し合い支援の方向を探るような学びができるよう、実態調査のもと動画を作成
- ・ ICT活用について
- ・ 生活単元学習の授業づくりに関する研究、自立活動に関する研究 等
- ・ 特別支援学校におけるICTの効果的な活用
- ・ 学びに向かう力を育成する教育の充実－未来につなぐキャリア教育の視点を通して－
- ・ 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり
- ・ 校内外における指導・支援の接続に関する研究

⑤【その他】(5)

- ・ 校内外における指導・支援の接続に関する研究
- ・ 特別支援に関する研修について
- ・ 教職経験ステージ状況の検証
- ・ 教育と福祉の連携深化とコアカリキュラムに基づく支援人材育成研修の実践研究
- ・ 連携に関わる研究

(4) 研究の成果の還元・活用方法(複数回答可)

- ① 発表会の実施 -(30) ② 冊子・CD等で配付 -(11) ③ ホームページで公開 -(31)
 ④ 研修に生かす -(29)

- ⑤ その他 (研究の内容によって成果の還元・活用方法が異なる WEBアプリによる配信 研修会での講義, 学校訪問の指導助言への活用 要請研修、学校訪問等で案内)

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(課題を3つまで、順位づけて回答)

課題	順位				計	課題	順位				計
	1位	2位	3位				1位	2位	3位		
① 研究協力校、研究協力員の決定	17	4	6	27	⑥ 教員との課題意識の共有	7	9	13	29		
② 研究協力校との連携の在り方	5	12	6	23	⑦ 校内の協力体制	2	4	7	13		
③ 子どもの診断	0	0	1	1	⑧ 保護者の理解と承諾	0	3	2	5		
④ 子どもの実態把握	5	6	1	12	⑨ 医療機関、相談機関との連携	0	0	0	0		
⑤ 子どもに対する具体的な支援方法	5	7	5	17	⑩ その他	5	1	2	8		

その他の内容

- ・ 研究成果の還元
- ・ 研究を行う時間の確保
- ・ 研究成果の周知と活用
- ・ 調査研究に係る質問紙調査の方法及び結果の解釈
- ・ ニーズに応じた研修のテーマ設定
- ・ 研究内容の情報発信の在り方と、成果物の活用
- ・ 現場の課題やニーズの把握
- ・ 研究成果物等の各学校における活用に向けた効果的発信

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒の支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究

①【ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりにかかわること】(13)

- ・ 児童生徒理解と特性に応じた指導・支援の工夫について
- ・ 発達障害のある児童生徒を取り出して学習させるのではなく、在籍する通常学級の中で、「できる・わかる」授業づくりを実施していくための方法や実践事例
- ・ 児童生徒の個別最適な学びを意識しながら、誰にでも「理解しやすい授業とは」を考える
- ・ 高等学校での授業参加、授業理解につながるような授業のユニバーサルデザイン化について、クラスの中で気になる生徒の姿についての理解を深めて取り組みにつなげられるような動画を作成し、各校の研修などで使っていただきたいと考えている
- ・ 学校現場等で活用できる具体的な指導・支援の方法について
- ・ 通常学級の教員が取り入れやすい工夫の事例等
- ・ 個別最適化の視点を踏まえた授業づくり、授業改善
- ・ 実践している学校等を訪問し、授業見学を行い、担任等から情報収集を行っていきたいと考えている
- ・ 一斉指導における指導方法の工夫と、個の実態に応じた「指導方法の個別化」「指導内容の個別化」による工夫をどう実践していくか。また、効果的な実践例の蓄積
- ・ 通常の学級における授業のユニバーサルデザイン化の取組状況や課題
- ・ 通常の学級において、障害の有無に関係なく、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業実践を含めた研究を行い、授業モデルとして各学校に還元する
- ・ ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業実践と、校園内研究の実施および好事例の収集
- ・ ICT機器の効果的活用

②【発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制にかかわること】(18)

- ・ 個の実態に応じた学習上又は生活上の困難の軽減を図るため、一人一台端末を活用した個別最適な学びの実施に向けた実態把握から授業改善までの流れについて
- ・ アセスメントについて、行動分析的な視点について、保護者との連携の在り方について
- ・ 障害の有無に関わらず困難を抱えている全ての児童生徒の理解について、発達や個性、特性から理解し、支援する考え方と具体的な支援について研究することで、インクルーシブ教育の推進を目指すこと

- ・何をどのように指導していいかわからない学校が多く、後追いの指導になっている。対象児童の状態が悪い方に変わっている
- ・児童・生徒の行動の背景を適切に把握する視点や、一人一人の児童・生徒に応じた指導についての事例の収集及び紹介
- ・高等学校の教員が、発達障害について理解し、支援の必要な生徒に応じた適切な支援に向けた校内体制の整備
- ・発達障がいがある生徒への進路指導体制の在り方(中学校、高等学校共に)
- ・児童生徒の主体的な活動を引き出すわかる授業づくり
- ・障害特性の理解と個に応じた指導の工夫
- ・集団指導における授業展開の工夫
- ・通級指導教室と通常の学級との連携、連続性のある指導の在り方
- ・発達障害のある児童生徒の指導内容や指導方法の実際
- ・実態把握・支援方法はもちろんのこと、インクルーシブ教育の視点を持った交流及び共同学習の理解、推進、実践
- ・境界域の児童生徒への支援の在り方
- ・「個別の教育支援計画」の作成と活用の状況
- ・具体的な指導方法(ノウハウ)
- ・個別の教育支援計画・個別の指導計画作成の際の実態把握や目標設定に関する、職員の力量や負担に関すること
- ・アセスメントに基づいた児童生徒の個別の指導計画の作成について

③【合理的配慮にかかわること】(7)

- ・合理的配慮としてのICT活用
- ・通常の学級における児童生徒の合理的配慮については、現段階では、まだ浸透していないように感じる
- ・合理的配慮についての現状と、それぞれの配慮に関する効果の検証が十分ではないため(個別のことなので難しいのですが)、まだまだ未知数な部分が大きいため、本人・保護者の求める合理的配慮と学校の提供との間にずれが生じている
- ・障がい理解や校内体制構築にあたって、各校の管理職等が取り組む姿勢で大きく関わることから、管理職等による校内の支援体制構築に関する調査・研究が必要と考える
- ・合理的配慮の手立て、合理的配慮の合意形成について
- ・ICTの活用
- ・合理的配慮について、合理形成や他機関との相談方法、個別の支援計画の利用の仕方等

④【校内体制の整備や協力体制の充実に関わること】(13)

- ・特別支援学級の教育課程の整備を含む、全職員による指導・支援の充実
- ・児童生徒の適切な実態把握、校内支援体制の確立、組織的な対応
- ・管理職のリーダーシップのもと、校内外の人的資源を効果的に活用しながら組織的に子どもの支援を考える校内支援体制のあり方
- ・学びの連続性や支援の継続の充実に目指した、進路先との効果的で効率的な連携の在り方
- ・発達障害のある児童生徒の指導について(担任だけで取り組んでないか、相談できる体制は整っているのか)
- ・通常の学級担任の特別支援教育の専門性を高める
- ・児童生徒の実態把握や指導方法等について、教員個人で専門性を深めるとともに、学年や学校全体で支援体制を整えることでより専門性が発揮される。学校がチームとして取り組むこと、協働についての調査・研究が必要であるとする
- ・効果的な支援を学校全体で行うことができるシステム作り
- ・通常の学級と特別支援学級の連携
- ・校内の支援体制
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制づくりの具体と実践事例等

- ・ 限られた校内の教職員で支援体制を構築し、一人一人に適切な支援を行うための、効果的な方法や実践例について
- ・ 管理職を対象とした校内体制や指導方法に関わる内容

⑤【特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること】(5)

- ・ 特別支援教育の内容を含む多様なニーズに関すること
- ・ 校内支援体制が整備されてきている中で、理念の浸透には至っていない状況がある
- ・ 現時点では、具体的な構想はないが、各種研修会の受講者アンケート等から、発達障害や合理的配慮の提供等の特別支援教育の基本的な理解を深める研修の在り方に関する調査研究の必要性を感じている
- ・ 各学校において発達障害についての教員の理解を深め、適切に対応するための調査・研究
- ・ 通常の学級の教員に対しても特別支援教育に関する理解を深めるための研修の実施

⑥【その他】(4)

- ・ 各学校における課題や研修ニーズの調査
- ・ 調査を基にした効果的な研修体系の構築
- ・ 教職員の理解推進と専門性の向上を図るための実践的な研修の在り方について
- ・ 通級による指導と校内支援との接続

4 3以外に今後必要と考える調査・研究

①【特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること】(24)

- ・ 子どもの学びにつながるICTを活用した取組に関する研究
- ・ 通級指導教室について
- ・ 通級についての体制を県としてどのように整えていくかを高等学校を含めて検討していかなければならない
- ・ 特別支援学級における個別の指導計画を活用した指導・支援の充実
- ・ 特別支援教育に係るICTの効果的な活用や授業実践
- ・ 特別支援学校が、地域の特別支援教育の中核となり、センター的役割を発揮する体制づくり
- ・ 特別支援教育に関するICT活用事例については可能な限り集め、講座等で情報を共有したり発信したりしてほしい
- ・ 初めて特別支援学級を担任する教員のスムーズな学級経営について
- ・ 担当者の資質向上
- ・ 支援教育コーディネーター等を中心とした、校内連携体制の確立に関わる研究
- ・ 授業づくりについて
- ・ 特別支援教育に関する専門性の向上と、専門性を図る具体的指標について
- ・ タブレット活用について
- ・ 通級指導教室の指導の充実
- ・ 特別支援学級等における日常的な指導に関する調査・研究
- ・ 教員研修プラットフォーム構築に向けた特別支援教育にかかる研修コンテンツの整備
- ・ 職員の特別支援教育に関する専門性の向上
- ・ 特別支援学級の指導の実態や課題に関する調査・研究
- ・ 特別支援教育にかかわる専門性の向上・育成について
- ・ 特別支援学級、通級による指導における自立活動の取組実践
- ・ 特別支援学級(自閉症・情緒障害)での交流及び共同学習について
- ・ 通級指導教室(言語・LD等)の担当者の専門性向上の研修
- ・ 特別支援学級在籍の児童生徒の特別支援学級での授業時数に関すること
- ・ 交流及び共同学習における効果的な指導の在り方について

②【高等学校に関わること】(15)

- ・ 高等学校における合理的配慮の理解啓発に関すること
- ・ 通級による指導の在り方
- ・ 特別支援教育、発達障害等に関する教職員の理解・啓発
- ・ 高校通級の理解と校内での共有
- ・ 高等学校における特別支援教育について
- ・ 特別支援教育の専門性の向上
- ・ 高等学校における生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関する内容
- ・ 高等学校における通級指導の、小・中学校からの引き継ぎについて
- ・ 通級指導教室担当と担任との連携
- ・ 高等学校における通級による指導に関する調査・研究(学校のニーズに応じた課題解決型の調査・研究)
- ・ 特別支援学級に在籍していた生徒や通級による指導を受けていた生徒が多く普通高校に進学している。高等学校においても切れ目のない支援を受けられるよう、教員の資質向上を図ることが求められる。そのニーズに応えられる研究が必要であると考え
- ・ 高等学校における特別支援教育の実践等に関する研究
- ・ 生徒の背景理解、合理的配慮、評価について
- ・ 通級による指導の授業づくり
- ・ 高等学校に在籍している、発達障害のある(可能性のある生徒も含む)生徒への支援、合理的配慮、中学校との連携について

③【家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること】(7)

- ・ 特別支援教育コーディネーターの力量の向上と、その力を効果的に発揮できる校内体制(管理職との連携を含む)の在り方
- ・ 特別な支援が必要な児童生徒が、地域で生活していくための、関係機関や学校、家庭と地域との連携の仕方
- ・ コーディネーターの役割について(全校種)
- ・ 自立活動の指導経過等について、小中、中高の連携を図るための手法やツールの開発
- ・ ソーシャルワークの活用について
- ・ 切れ目のない支援の引継ぎと関係機関との連携の在り方
- ・ 切れ目ない支援体制の構築、多職種連携の実践例事例収集等

④【新学習指導要領に関わること】(2)

- ・ 知的障害の教育課程における学習評価について
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

【その他】(2)

- ・ 全ての教員の「特別支援教育に関する専門性向上」に向けた研修の在り方
- ・ インクルーシブ推進に関すること
- ・ 高等学校における特別支援教育の研修について
- ・ 特別支援教育コーディネーターを支える校内支援体制について
- ・ アセスメントから具体的な指導への効果的取組
- ・ 読み書きの困難のある児童生徒への指導

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
2	北海道立特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	自立活動の基本的な内容を整理し、効果的な指導に向けたポイント及び自立活動の指導の改善を図るために参考となる実践例を示したハンドブックを作成する。

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑩
2位	①
3位	②

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（研究成果の還元）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	個の実態に応じた学習上又は生活上の困難の軽減を図るため、一人一台端末を活用した個別最適な学びの実施に向けた実態把握から授業改善までの流れについて

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	子どもの学びにつながるICTを活用した取組に関する研究

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
3	青森県総合学校教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	特別な支援を要する児童生徒への機能代替アプローチによるICT活用の理解啓発に関する研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	⑤
3位	⑩

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ 研究を行う時間の確保 ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	合理的配慮としてのICT活用

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	高等学校における合理的配慮の理解啓発に関すること

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
4	岩手県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	ICTを活用した学習活動の充実に関する研究（小学校知的障がい特別支援学級、小学校LD等通級指導教室）（令和4年度）
③	特別支援学校における障がい種に応じた専門性の向上と指導の充実に関する研究－自立活動資料（肢体不自由）の作成を通して－（令和4年度）
②	中学校特別支援学級における将来の自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実に関する研究（令和4年度）

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	②
2位	①
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	アセスメントについて、行動分析的な視点について、保護者との連携の在り方について

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	通級による指導の在り方

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
5	宮城県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

10年 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	発達障害のある中学生、高校生への支援（通常の学級で共に学ぶための支援、教員への研修パックの作成他）
②	中学校、高等学校の通級による指導の充実のための実践的研究
③	知的障害教育における資質・能力の育成を目指した授業づくり

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ⑤

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ 研修会での講義、学校訪問の指導助言への活用 ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑩
2位	⑥
3位	⑤

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ 研究成果の周知と活用 ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	障害の有無に関わらず困難を抱えている全ての児童生徒の理解について、発達や個性、特性から理解し、支援する考え方や具体的な支援について研究することで、インクルーシブ教育の推進を目指すこと。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	特別支援教育コーディネーターの力量の向上と、その力を効果的に発揮できる校内体制（管理職との連携を含む）の在り方。

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
6	秋田県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は②以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	特別な支援を必要とする児童生徒のためのICTを活用した指導・支援の工夫
①	学びにくさを抱えた児童生徒の理解と学習上の配慮 ー特別支援教育の視点を生かしてー
①	校内組織の効果的活用による特別支援教育へのチームアプローチ

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ② ③

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑤
2位	⑥
3位	⑦

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	児童生徒理解と特性に応じた指導・支援の工夫について

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	通級指導教室について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
7	山形県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	⑦
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	何をどのように指導していいか分からない学校が多く、後追いの指導になっている。対象児童の状態が悪い方に変わっている。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	通級についての体制を県としてどのように整えていくかを高等学校を含めて検討していかなければならない。

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
8	福島県特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	児童生徒一人一人の資質・能力を育む交流及び共同学習
③	特別支援学校におけるICTの効果的な活用の在り方

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	②
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	特別支援学級の教育課程の整備を含む、全職員による指導・支援の充実

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	全ての教員の「特別支援教育に関する専門性向上」に向けた研修の在り方

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
8	茨城県教育研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

（最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入）

1位	<input type="text"/>
2位	<input type="text"/>
3位	<input type="text"/>

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
10	栃木県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	特別支援学校（知的障害）におけるICTを活用した指導・支援の充実

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	②
2位	④
3位	⑥

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	個別的教育支援指導計画を活用した指導・支援の充実

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援学級における個別の指導計画を活用した指導・支援の充実

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
11	群馬県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	特別支援学級向けのICT機器の活用についての指導資料集
④	知的障害のある児童生徒への授業づくりについて
①	高等学校における特別な配慮が必要な生徒への対応について

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

③ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑥
2位	⑤
3位	①

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	発達障害のある児童生徒を取り出して学習させるのではなく、在籍する通常学級の中で、「できる・わかる」授業づくりを実施していくための方法や実践事例

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	特別な支援が必要な児童生徒が、地域で生活していくための、関係機関や学校、家庭と地域との連携の仕方

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
④新学習指導要領に関わること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
12	埼玉県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用に関する調査研究

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

- ③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

- ⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

③ ④ ⑤

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

- ⑤ その他（ 要請研修、学校訪問等で案内 ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑥
2位	①
3位	⑦

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

- ④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

- ⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

- ⑨医療機関、相談機関との連携

- ⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	児童生徒の適切な実態把握、校内支援体制の確立、組織的な対応

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

- ②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

- ③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

- ⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

- ⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	コーディネーターの役割について（全校種）

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

- ②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

- ④新学習指導要領に関すること

- ⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
13	千葉県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	知的障害教育における学習評価から授業改善につなげるフレームワークに関する研究

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	⑩
3位	②

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ 調査研究に係る質問紙調査の方法及び結果の解釈 ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	通常の学級における児童生徒の合理的配慮については、現段階では、まだ浸透していないように感じる。

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援教育に係るICTの効果的な活用や授業実践

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
14	東京都教職員研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	自立活動の指導法や児童・生徒の適切な状況把握に関する調査及び研究

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ② ③

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	④
2位	⑤
3位	⑥

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	児童・生徒の行動の背景を適切に把握する視点や、一人一人の児童・生徒に応じた指導についての事例の収集及び紹介

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	自立活動の指導経過等について、小中、中高の連携を図るための手法やツールの開発

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
④新学習指導要領に関わること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
15	神奈川県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	特別支援学校の専門性向上に関すること

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

② ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	④
2位	⑤
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	特別支援教育の内容を含む多様なニーズに関すること

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	インクルーシブ推進に関すること

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
16	新潟県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	高等学校における特別な支援を要する生徒の卒業後を見据えた指導・支援について

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

①

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	②
3位	③

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	高等学校の教員が、発達障害について理解し、支援の必要な生徒に応じた適切な支援に向けた校内体制の整備

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援学校が、地域の特別支援教育の中核となり、センター的役割を發揮する体制づくり

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
17	富山県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

- ③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

- ⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

- ⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

- ④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

- ⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

- ⑨医療機関、相談機関との連携

- ⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	合理的配慮についての現状と、それぞれの配慮に関する効果の検証が十分ではないため（個別のことなので難しいのですが）、まだまだ未知数な部分が多いため、本人・保護者の求める合理的配慮と学校の提供との間にずれが生じている。

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

- ②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

- ③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

- ⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

- ⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

- ②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

- ④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
18	石川県教員総合研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ ）

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

（最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入）

1位	<input type="text"/>
2位	<input type="text"/>
3位	<input type="text"/>

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
19	福井県特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	読み書きのつまずきに対する早期発見・支援に関する学校支援について
④	担任一人で抱え込ませない、協働できる授業づくり、学校組織支援について

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ② ③

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	④
2位	⑥
3位	⑦

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	管理職のリーダーシップのもと、校内外の人的資源を効果的に活用しながら組織的に子どもの支援を考える校内支援体制のあり方

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	・特別支援教育、発達障害等に関する教職員の理解・啓発 ・高校通級の理解と校内での共有

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
20	山梨県総合教育センター相談支援センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	発達特性に応じた指導方法に関する研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ② ③

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑤
2位	⑥
3位	④

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	児童生徒の個別最適な学びを意識しながら、誰にでも「理解しやすい授業とは」を考える。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	高等学校における特別支援教育について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
21	長野県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	課題となっている児童生徒の姿について、校内で15分程度の動画を視聴し、それについて話し合い支援の方向を探るような学びができるよう、実態調査のもと動画を作成

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（特別支援に関する研修について）

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	⑥
3位	

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	高等学校での授業参加、授業理解につながるような授業のユニバーサルデザイン化について、クラスの中で気になる生徒の姿についての理解を深めて取り組みにつなげられるような動画を作成し、各校の研修などで使っていただきたいと考えている。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援教育に関するICT活用事例については可能な限り集め、講座等で情報を共有したり発信したりしていきたい。

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
22	岐阜県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	⑧
3位	②

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	発達障がいがある生徒への進路指導体制の在り方（中学校、高等学校共に）

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	特別支援教育の専門性の向上

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
23	静岡県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

3年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	特別支援学校における子どもの資質・能力の育成に向けた取組に関する研究 －ICTを活用した学びの充実－

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	②
2位	①
3位	⑤

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	校内支援体制が整備されてきている中で、理念の浸透には至っていない状況がある

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	高等学校における生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関する内容

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
- ②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
- ④新学習指導要領に関わること
- ⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
24	愛知県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

3年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	通常の学級担任と通級担当者の連携を図るための校内体制について

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	②
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	・学びの連続性や支援の継続の充実を目指した、進路先との効果的で効率的な連携の在り方

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	ソーシャルワークの活用について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
25	三重県教育委員会事務局

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ 教職経験ステージ状況の検証 ）

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑥
2位	⑤
3位	⑩

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ニーズに応じた研修のテーマ設定。 ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	学校現場等で活用できる具体的な指導・支援の方法について

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	高等学校における特別支援教育の研修について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
26	滋賀県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

- ③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

- ⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

- ⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

- ④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

- ⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

- ⑨医療機関、相談機関との連携

- ⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	通常学級の教員が取り入れやすい工夫の事例等

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

- ②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

- ③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

- ⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

- ⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	初めて特別支援学級を担当する教員のスムーズな学級経営について

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

- ②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

- ④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
27	京都府総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	通常の学級に在籍する読み書きに困難のある児童生徒のICTを活用した学びの研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

② ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位 ②
2位 ④
3位 ⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力的体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	個別最適化の視点を踏まえた授業づくり、授業改善

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力的体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3 以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	担当者の資質向上

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
- ②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
- ④新学習指導要領に関わること
- ⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機 関 名
28	大阪府教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	当センターが発信している障がいの理解に関する冊子の更新にあたっての支援事例の研究
②	当センターが発信している障がいの理解に関する冊子の更新にあたっての支援事例の研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑩
2位	②
3位	①

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ 研究内容の情報発信の在り方と、成果物の活用 ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	障がい理解や校内体制構築にあたって、各校の管理職等が取り組む姿勢で大きく関わることから、管理職等による校内の支援体制構築に関する調査・研究が必要と考える。

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	支援教育コーディネーター等を中心とした、校内連携体制の確立に関わる研究

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
④新学習指導要領に関わること
⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
29	兵庫県立特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	特別支援教育コーディネーターと関係機関との連携について

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	②
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	児童生徒の主体的な活動を引き出すわかる授業づくり 障害特性の理解と個に応じた指導の工夫 集団指導における授業展開の工夫

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	高等学校における通級指導の、小・中学校からの引き継ぎについて。

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
30	奈良県教育委員会事務局特別支援教育推進室

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	特別支援学校による高等学校における通級による指導の実施に関する研究
③	特別支援学校におけるICT活用に関する研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ 研究の内容によって成果の還元・活用方法が異なる ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑦
2位	⑥
3位	②

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	実践している学校等を訪問し、授業見学を行い、担任等から情報収集を行っていきたいと考えている。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	授業づくりについて

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
31	和歌山県教育センター学びの丘

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	自閉症・情緒障害特別支援学級における授業づくりについて

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

③

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	④
3位	⑦

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	発達障害のある児童生徒の指導について (担任だけで取り組んでないか、相談できる体制は整っているのか)

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	通級指導教室担当と担任との連携

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
32	鳥取県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
33	島根県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	特別支援学級の授業づくりの視点を整理し、特別支援学級担任を支えるための教育センターの支援の在り方を検討する。

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑥
2位	⑤
3位	①

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	合理的配慮の手立て、合理的配慮の合意形成についてICTの活用

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	特別支援教育コーディネーターを支える校内支援体制について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
34	岡山県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑤
2位	②
3位	①

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	通級指導教室と通常の学級との連携、連続性のある指導の在り方

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	切れ目のない支援の引継ぎと関係機関との連携の在り方

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
35	広島県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	自閉症・情緒障害特別支援学級の異年齢集団における授業づくりについて（パンフレットの作成）

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	④
3位	⑤

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	通常の学級担任の特別支援教育の専門性を高める。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3 以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	知的障害の教育課程における学習評価について

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
- ②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
- ④新学習指導要領に関わること
- ⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
36	やまぐち総合教育支援センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>
<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>
<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

（最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入）

1位	<input type="text" value="1"/>
2位	<input type="text" value="2"/>
3位	<input type="text" value="7"/>

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text" value="5"/>	現時点では、具体的な構想はないが、各種研修会の受講者アンケート等から、発達障害や合理的配慮の提供等の特別支援教育の基本的な理解を深める研修の在り方に関する調査研究の必要性を感じている。

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協体制の充実に関わること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text" value="2"/>	高等学校における通級による指導に関する調査・研究（学校のニーズに応じた課題解決型の調査・研究）

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
④新学習指導要領に関わること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
37	徳島県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ 教育と福祉の連携深化とコアカリキュラムに基づく支援人材育成研修の実践研究 ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ② ③

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑥
2位	⑦
3位	②

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	児童生徒の実態把握や指導方法等について、教員個人で専門性を深めるとともに、学年や学校全体で支援体制を整えることでより専門性が発揮される。学校がチームとして取り組むこと、協働についての調査・研究が必要であるとする。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援教育に関する専門性の向上と、専門性を図る具体的指標について。

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
38	香川県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	ICT活用について

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑤
2位	⑧
3位	

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	合理的配慮について、合理形成や他機関との相談方法、個別の支援計画の利用の仕方等

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	タブレット活用について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
39	愛媛県総合教育センター

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	生活単元学習の授業づくりに関する研究、自立活動に関する研究 等
①	合理的配慮の提供に関する研究、交流及び共同学習に関する研究 等

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	②
2位	⑥
3位	①

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	一斉指導における指導方法の工夫と、個の実態に応じた「指導方法の個別化」「指導内容の個別化」による工夫をどう実践していくか。また、効果的な実践例の蓄積。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	特別支援学級に在籍していた生徒や通級による指導を受けていた生徒が多く普通高校に進学している。高等学校においても切れ目のない支援を受けられるよう、教員の資質向上を図ることが求められる。そのニーズに応えられる研究が必要であると考える。

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
40	高知県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

- ③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

- ⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

- ⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	④
2位	⑤
3位	⑦

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

- ④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

- ⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

- ⑨医療機関、相談機関との連携

- ⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	効果的な支援を学校全体で行うことができるシステム作り

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

- ②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

- ③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

- ⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

- ⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	通級指導教室の指導の充実

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

- ②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

- ④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
41	福岡県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	各学校において発達障害についての教員の理解を深め、適切に対応するための調査・研究

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援学級等における日常的な指導に関する調査・研究

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
42	佐賀県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくり — 目指す児童生徒の姿と到達状況を具体的に捉え、PDCAサイクルの充実を図る—

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑩
2位	⑦
3位	⑧

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ 現場の課題やニーズの把握 ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	発達障害のある児童生徒の指導内容や指導方法の実際

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
43	長崎県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	ICT活用における好事例及びiPadアプリ情報の収集・整理及びデータベースの構築

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

⑤ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ WEBアプリによる配信 ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑩
2位	②
3位	⑥

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ 研究成果物等の各学校における活用に向けた効果的発信 ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑥	・各学校における課題や研修ニーズの調査 ・調査を基にした効果的な研修体系の構築

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関ること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ 上記①～⑤に関する内容全て ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	教員研修プラットフォーム構築に向けた特別支援教育にかかる研修コンテンツの整備

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
44	熊本県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	通級による指導の充実に向けた取組

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	⑧
3位	⑦

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	・通常の学級と特別支援学級の連携 ・校内の支援体制

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関ること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	・職員の特例支援教育に関する専門性の向上

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
- ②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
- ④新学習指導要領に関わること
- ⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
45	大分県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	小・中学校の通級指導教室における指導の実態と課題に関する調査・研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他 ()

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他 ()

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	②
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他 ()

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	通常の学級における授業のユニバーサルデザイン化の取組状況や課題

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他 ()

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援学級の指導の実態や課題に関する調査・研究

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
46	宮崎県教育研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

（最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入）

1位	<input type="text"/>
2位	<input type="text"/>
3位	<input type="text"/>

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
 一人一人の教育的ニーズに応じることのできる指導・支援に関する調査・研究とその活用の在り方

機関番号	機関名
47	鹿児島県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
 (①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	特別支援学校におけるICTの効果的な活用
⑤	校内外における指導・支援の接続に関する研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（ 連携に関わる研究 ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	②
3位	

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
 選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	通常の学級において、障害の有無に関係なく、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業実践を含めた研究を行い、授業モデルとして各学校に還元する。

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	高等学校における特別支援教育の実践等に関する研究

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
48	沖縄県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	「読み・書き」に困難を抱える児童生徒の理解と学びの充実 ー「読み・書き」サポートブックの作成に向けて
④	学びに向かう力を育成する教育の充実 ー未来につながるキャリア教育の視点を通してー

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

①

②

③

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	④
2位	⑥
3位	⑤

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	実態把握・支援方法はもちろんのこと、インクルーシブ教育の視点を持った交流及び共同学習の理解、推進、実践

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	○生徒の背景理解、合理的配慮、評価について ○通級による指導の授業づくり

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
49	千葉県養護教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	チーム力をより高める校内支援体制の在り方 ーチームを支える特別支援教育コーディネーターガイドブックの作成を通してー
②	特別支援学級担任への支援の充実を目指して ー特別支援学級担任のためのハンドブックの作成を通してー
①	発達障害・発達障害傾向の児童生徒に対する適切な支援を目指して ー（仮）発達障害支援ハンドブックの作成と活用した研修マニュアルの作成ー

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関

- ③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

- ⑤その他（

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ③ ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

- ⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑥
2位	⑦
3位	⑤

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

- ④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

- ⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

- ⑨医療機関、相談機関との連携

- ⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑥	教職員の理解推進と専門性の向上を図るための実践的な研修の在り方について

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

- ②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

- ③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

- ⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（ 事例検討等 ）

4 3 以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
③	切れ目ない支援体制の構築、多職種連携の実践例事例収集等

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
- ②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
- ④新学習指導要領に関わること
- ⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
50	川崎市総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

1 年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	特別支援学級における教育課程の編成・サポートノートについての研究
②	特別支援学級における児童生徒の学びにつながる1人1台端末の活用についての研究
③	重度知的障害のある児童生徒の資質・能力を育成する授業づくりのプロセスについての研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ② ②

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	②
3位	⑥

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑥	通級による指導と校内支援との接続

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援教育にかかわる専門性の向上・育成について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること

②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること

④新学習指導要領に関すること

⑤その他 ()

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
51	横浜市特別支援教育総合センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑥
2位	②
3位	⑧

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制づくりの具体と実践事例等

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	アセスメントから具体的な指導への効果的取組

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（読み書きの困難のある児童生徒への指導）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
52	名古屋市教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されず

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	限られた校内の教職員で支援体制を構築し、一人一人に適切な支援を行うための、効果的な方法や実践例について

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	高等学校に在籍している、発達障害のある（可能性のある生徒も含む）生徒への支援、合理的配慮、中学校との連携について

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
53	京都市教育委員会事務局指導部総合育成支援課

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
⑤	通常の学級の教員に対しても特別支援教育に関する理解を深めるための研修の実施

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関ること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
54	大阪市教育委員会事務局指導部インクルージョン教育推進室

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

2 年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	文部科学省事業「ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究」

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ④

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	①
2位	④
3位	⑥

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業実践と、校園内研究の実施および好事例の収集

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関ること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関ること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援学級、通級による指導における自立活動の取組実践

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
55	広島市教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
④	管理職を対象とした校内体制や指導方法に関わる内容

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
56	北九州市立特別支援教育相談センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

- 3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	・境界域の児童生徒への支援の在り方 ・「個別の教育支援計画」の作成と活用の状況

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関すること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関すること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

- 4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	・特別支援学級（自閉症・情緒障害）での交流及び共同学習について

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
57	福岡市教育委員会発達教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	具体的な指導方法（ノウハウ）

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
④新学習指導要領に関わること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
58	静岡市特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること
②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること
④新学習指導要領に関わること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
59	浜松市教育総合支援センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

3年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	小学校低学年における多層指導モデルM I Mの研究

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑦
2位	⑥
3位	②

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	I C T機器の効果的活用

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	通級指導教室（言語・LD等）の担当者の専門性向上の研修

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
60	新潟市立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

※3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

- (1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答
(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

③

- ①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

- (2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

年間

- (3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究
③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究
⑤その他（ ）

- (4) 研究成果の還元・活用方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

- ① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす
⑤ その他（ ）

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	
2位	
3位	

- ①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断
④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法
⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾
⑨医療機関、相談機関との連携
⑩その他（ ）

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について
選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	個別の教育支援計画・個別の指導計画作成の際の実態把握や目標設定に関する、職員の力量や負担に関すること

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関ること
②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関すること
③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関ること
⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関すること
⑥その他（ ）

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	特別支援学級在籍の児童生徒の特別支援学級での授業時数に関すること

- ①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関すること
②高等学校に関すること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関すること
④新学習指導要領に関すること
⑤その他（ ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第3分科会
調査・研究に関する事項
一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援
に関する調査・研究と活用

機関番号	機関名
61	相模原市 教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

※ 3については、調査・研究未実施の機関も回答ください。

1 特別支援教育に関する調査・研究事業

(1) 調査・研究事業の有無をドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

(①、②の回答の場合は(2)以降へ)

①

①調査・研究している(した) ②予定している ③予定はない

(2) 研究の方法（期間）をドロップダウンリストから該当する年数を選択し回答

3年間

(3) 研究の内容を下の選択肢から選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
④	特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり

①小学校、中学校、高等学校、義務教育学校等の通常の学級に関わる研究 ②特別支援学級、通級指導教室に関わる研究

③特別支援学校に関わる研究 ④授業づくり、学級づくり、指導法に関する研究

⑤その他（

(4) 研究成果の還元・活用の方法を下の選択肢から選択（最大三つ）

① ② ④

① 発表会の実施 ② 冊子・CD等で配付 ③ ホームページで公開 ④ 研修に生かす

⑤ その他（

2 特別支援教育に関する調査・研究事業における課題

(最も課題であると考えている項目を選択肢から3項目選び、課題の大きさの順に記入)

1位	⑤
2位	④
3位	①

①研究協力校、研究協力員の決定 ②研究協力校との連携の在り方 ③子どもの診断

④子どもの実態把握 ⑤子どもに対する具体的な支援方法

⑥教員との課題意識の共有 ⑦校内の協力体制 ⑧保護者の理解と承諾

⑨医療機関、相談機関との連携

⑩その他（

3 通常の学級における発達障害のある児童生徒への支援・授業づくりに関する課題・今後必要と考える調査・研究について

選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

課題、今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
②	アセスメントに基づいた児童生徒の個別の指導計画の作成について

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり、学級づくりに関わること

②発達障害のある児童生徒の実態把握、指導内容や指導方法、体制に関わること

③合理的配慮にかかわること ④校内体制の整備や協力体制の充実に関わること

⑤特別支援教育の理念、発達障害についての教員の理解に関わること

⑥その他（

4 3以外に、今後必要と考える調査・研究について選択肢から一つ選び、その具体的な内容について記入

今後必要と考える調査・研究	具体的な内容
①	交流及び共同学習における効果的な指導の在り方について

①特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に関わること

②高等学校に関わること ③家庭・学校・関係機関・地域との連携に関わること

④新学習指導要領に関わること

⑤その他（